

平成 21 年 2 月 25 日
株式会社まちづくり三鷹

まちづくり三鷹「Ruby 図書館情報システム」が
「フクオカ Ruby 大賞」優秀賞を受賞

平成 21 年 2 月 20 日、福岡県とフクオカ Ruby 大賞実行委員会が主催する「フクオカ Ruby 大賞」において、当社が開発した「Ruby 図書館情報システム」が優秀賞を受賞しました。表彰式は、2 月 27 日、西鉄ソラリアホテル（福岡市中央区）で、フクオカ Ruby フォーラムの中で行われます。

福岡県では、日本発のプログラミング言語 Ruby を核とするソフトウェアの技術開発拠点化を産学官あげて進めています。フクオカ Ruby 大賞は、ソフトウェア産業の振興、Ruby の世界への普及を目的として、Ruby による優れた取組を表彰するため実施されたものです。同大賞には、国内外から 78 件（国内 58 件、海外 20 件）の応募がありました。

当社のシステムは、Ruby で開発した図書館業務の基幹パッケージシステムで、Ruby の特徴である生産性の高さにより、既存システムの半額という低コストを実現し、自治体の IT コスト削減に貢献することができます。また、当社が地域の中小 IT ベンダーと提携し、そのベンダーにプログラムのソースコードを開示することにより、地元公共図書館の要望にきめ細かく対応したシステムを開発し、保守運営をすることができます。自治体の IT 投資が地域の中で循環するという当社のビジネスモデルが高く評価されました。

今回の大賞では、最優秀賞 1 点、優秀賞 3 点、奨励賞 3 点が選出されました。受賞内容は、下記のとおりです。

（資料：フクオカ Ruby フォーラムウェブサイト <http://www.ruby-award.jp/index.html>）

大 賞	「Climate Information Tool Kit (CLIK)」 APEC Climate Center, Climate Applications Team (韓国)
優 秀 賞	「9 Arrows」 合同会社ナインアローズ (福岡)
	「まちづくり百科 Ruby 図書館情報システム」 株式会社まちづくり三鷹 (東京)
	「Puppet, Systems Building Systems」 Luke Kanies (アメリカ)
奨 励 賞	「CPFCS 用測定機器中継システム」 正晃テック株式会社 (福岡)
	「安全安心 PTA 連絡メールシステム AIMS (ミテルちゃん、マモリちゃん)」 MOTO: TAKER (福岡)
	「大学向け電子ポートフォリオシステムの開発 ~主体的に行動する人材を育てるために~」 株式会社ハウインターナショナル (福岡)

まちづくり三鷹「Ruby 図書館情報システム」の解説

Ruby は、松江市在住のまつもとゆきひろ氏が開発した、日本生まれのプログラミング言語で、従来の言語に比べて、簡易で開発効率が極めて高い。2004 年に公開されたフレームワーク「Ruby on Rails」の登場によって、いま世界的に注目されている。日本でも、楽天、ニフティなどで、Web アプリケーションソフトの開発に採用されている。

まちづくり三鷹は、2007 年度に Ruby 講師養成講座を開設し、そこで養成した数人の技術者によって、2008 年 8 月に図書館の基幹業務システムのパッケージソフトを開発した。これまで、Ruby は、大量の情報を高速で処理する業務システムには不向きだとされてきた。当社はこれに挑戦し、約 70 万件の書誌情報もスムーズに検索できることを実証した。Ruby の開発効率のよさを生かして、開発期間を短縮し、コストの低減ができたため、従来のシステムの半額程度の価格を実現した。

このシステムは、価格が安いだけでなく、先進的な完全 Web 方式の採用により、複数の公共図書館や学校図書館などをインターネット上で結び、一箇所のサーバーで統合管理を行うことができるという特長をもっている。

これまで、自治体は、一度導入したシステムを改修する必要性が生じた場合に、導入した IT ベンダーにほぼ言いなりの金額で依頼せざるをえなかった。当社では、システムの開発段階で地域 IT ベンダーの Ruby 技術者を養成し、その地域ベンダーとライセンス契約を締結した上で、ソースコードを開示する。このことで、地域 IT ベンダーが図書館の要望に即したシステムを開発するとともに、その保守や改修を行うので、きめ細かな図書館サービスを迅速かつ柔軟に提供することができる。また、地域 IT ベンダーの技術力を高め、技術者が意欲をもって仕事に取り組むことができるようになり、若者などの雇用を創出することにつなげていくことができる。

平成 21 年 1 月 29 日、塩尻市は、単に低コストであるだけでなく、地域の活性化に結びつけるという当社の図書館システムを導入することを決定した。これまで、自治体業務システムの開発は、大手 IT ベンダーの寡占状態だったが、自治体の IT コスト削減と地域活性化を目的とした当社の IT ビジネスがそこに風穴をあけた。当社は、これを契機に、全国自治体の IT 経費半減化に向けて、地域おこしとともに、広く営業展開を図る。

問合せ先： 株式会社まちづくり三鷹 IT 事業本部
柴田・宇山・佐藤・田島
0422-40-9669